2023年10月15日付　217号

2023 10月号 福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南１－９－８
ケイ・アイビル２Ｆ
TEL　092-433-3338
FAX　092-433-3535
Mail：fukuciku@gmail.com
（ＨＰはこちら）

＜加盟組合の定期大会＞

労働者の労働条件と生活向上のために

福岡地区労連に加盟する各労働組合は、この時期にこれからの一年間の運動方針を決定する定期大会を開催しています。今号は４つの労働組合の定期大会開催状況を紹介します。定期大会ではいずれも物価高騰を上回る春闘の勝利、インボイス制度の中止など、労働者の労働条件改善などの方針を決定しています。（掲載は、定期大会開催順です。）

↑福建労福岡西支部での定期大会
↓郵政ユニオン中郵支部での定期支部大会

↑福建労福岡東支部での定期大会
↓福岡医療団労組での定期大会

過去最高の組織数を達成！

福建労福岡東支部
書記長　山中　健

9月10日、第9回定期大会が開催され、来賓の11人を含む107人が参加をしました。

大会では、昨年度の組織到達目標1736人が加入し、過去最高の組織数を達成した事をはじめ、この間支部の仲間と取り組んだ運動を総括し、次年度に向けた方針が全会一致で確認されました。小笠原支部長からは、仲間に対する1年間の協力を感謝するとともに、「毎日が（組織）拡大です」と引き続きの協力が呼びかけられました。

インボイス制度廃止をみんなの力で

福建労福岡西支部
書記長　田口　弘子

9月10日、第9回定期大会を開催しました。

井上支部長は挨拶で、豪雨災害カンパ、10月から始まるインボイス制度廃止、秋の大運動をみんなの力で成功させようと訴えました。専門部長より活動経過と方針の提案を行い、改憲に反対し憲法を暮らしに活かす、建設アスベスト問題の全面解決、自治体要請、社会保障を実現し「3つの危機」を跳ね返す、インボイス制度廃止と消費税5%減税をめざすなどが承認されました。

生活を守り改善する闘いを

福岡医療団労組
副委員長　河谷　靖

9月16日、第36回定期大会を開催しました。医療・介護労働者は他産業と比べて低い賃金で働いている労働者が多く、賃金・労働条件の早急な改善が重要になっています。また、新型コロナウイルス感染症が5類となり、病院へ対する補助金も大幅に減り、赤字経営の病院が続出しているのが現状です。2023年度は単組の活動だけでなく、医療・介護分野の労働者が一団となって、国民の生命と健康を守るため、医療労働者の生活を守り改善するたたかいをすすめていきます。

組織拡大の取り組みを決定！

郵政ユニオン中郵支部
書記長　米地　輝孝

9月17日、定期支部大会を開催し、支部の組織の問題を中心に討議を進めました。労契法20条裁判を闘い、春闘時期には職場で対抗しうるものは少ない中でも、小さな組織でもストを構えて闘う支部への職場の期待は大きいことから、定期大会で出された組合員の意見を取り入れ、今年度は支部独自で毎月労働相談日を設けて、この1年間も組拡中心に取り組む事を決定しました。日本郵政株式会社という大企業に、小さな組織でも闘うという灯を消さずに奮闘します。

〈労働組合と地球環境問題を考える⑰〉

デブリに直接接触した汚染水の海洋放出は重大な問題行為

―放射能汚染水海洋放出中止を！―

福岡県労連は、第1回幹事会名で「多核種除去設備（以下「ＡＬＰＳ」）により処理された汚染水海洋放出に抗議し中止を求める決議」を9月19日に確認し岸田政権に送付しました。（決議参照）福岡地区労連は10月22日に開催します第34回定期大会で汚染水海洋放出抗議中止の決議を提案する予定です。

決議書は、岸田政権が8月24日に開始した、放射能による汚染水の海洋放出に強く抗議し、漁業者との約束を守り、福島県民・国民合意のない海洋放出の中止を求めています。決議書は①漁業者との約束を破ることは許されない、②合意のない海洋放出の強行は12年間の復興の努力を台無しにしたことを理由に中止を求めています。

今後も増え続ける放射能汚染水

今回の放出を政府は全体のわずか2・3％にあたる31，200トンと言うものの、核燃料が溶け落ちたデブリに直接接触していろいろな放射性物質が含まれている水を海に流すことは、世界ではじめて強行した重大な問題行為です。ＩＡＥＡも海洋放出に賛成していません。

今後に残る問題として、敷地内のタンクに貯めた水の7割近くが、排出濃度基準を超えた放射性物質が残っている汚染水であることと、この汚染水をＡＬＰＳが2次処理できるかどうかの問題があります。また、雨水や地下水を遮水できていない実態と、遮水する検討をしていないことなどを含め、デブリの取り出しもできない状況の中では、今後も放射能の汚染水は長期に増え続けることが懸念されます。

処理水ではなく放射能汚染水です

放射能汚染水という表現について、前任の野村農水相は官邸で記者の質問に対して「処理水」を「汚染水」と言い間違えたとして、謝罪して発言を撤回しました。しかし、実態は原発事故で溶け落ちた核燃料（デブリ）に直接接触し、放射能物質が含まれていますから、放射能汚染水が正しい表現です。ＡＬＰＳで除去できないトリチウムという物質は、がん、流産などを引き起こすリスクがある放射性物質です。

放出を禁止したアメリカニューヨーク州

問題は、溶け落ちたデブリが取り除けない限り、放射能汚染水は増え続ける問題と、重大な問題は、政府が放出される放射能物質の総量を明らかにしていないことです。中国の対応についてもいたずらに対立を悪化させるのではなく、対話による外交で問題を解決すべきです。ちなみに8月18日にアメリカ東部ニューヨーク州は、閉鎖された原子力発電所から放射性物質を含む汚染水をハドソン川に放出することを禁止しました。アメリカでできて日本でなぜできないのか、岸田政権の姿勢が問われます。

（編集委員　恵藤）

ＡＬＰＳにより処理された汚染水海洋放出に抗議し中止を求める決議
漁業者との約束を守り、福島県民・国民合意のない海洋放出は中止を！

岸田政権は、ＡＬＰＳに処理された「汚染水」の海洋放出を８月２４日から開始した。私たちは海洋放出に強く抗議するとともに、その中止を求めるものである。

私たちは、この汚染水の海洋放出について、第１に、国と東京電力が漁業者との約束＝「関係者の理解なしに、いかなる処分も行わない」という約束を破ることは許されないこと、第２に福島県民・国民合意がないもとで、海洋放出が強行されました。これまでの 12 年間の復興の努力が台無しになることなどから反対してきた。

また、海洋放出ではない解決策＝「広域遮水壁」などで汚染水の新たな発生を抑え、陸上保管を継続する方法があることも提案してきた。しかし、これらの点があいまいにされたまま、海洋放出を行ったことは認めるわけにはいかない。

海洋放出をめぐる不安や懸念は、現時点でも何ら解決していない。逆に輸出品の価格が大幅に下落するなど深刻な影響が広がっている。

また先日開催された「復興と廃炉の両立とＡＬＰＳ処理水問題を考える福島円卓会議」では、海洋放出の「凍結」を求めるとともに、設備面での確認とは別に「具体的な運用計画」の提出と審議が行われていないという問題点を指摘しており、国と東京電力の真摯な対応が求められている。

私たちは、漁業者との約束を守り、福島県民・国民合意のない海洋放出は中止することを強く求め決議する。

2023 年 9 月 19 日

福岡県労働組合総連合第１回幹事会

不安定な雇用の「地域限定保育士」で大事な子供たちは守れません

福祉保育労・福岡地本　書記長　城山　佐和子

「地域限定保育士」とは、自治体が独自に実施する試験に合格した場合、その地域でのみ、国家資格である保育士と同様に働くことができる仕組みです。現在は国家戦略特区の一環として神奈川県、大阪府など一部地域で実施されていますが、政府はこれを全国に展開しようとしています。

「保育士不足」の解消のために持ち出されていますが、現場で必要となる保育士の数十倍の潜在保育士がおり、世の中に保育士が不足しているわけではありません。

潜在保育士とは、保育士資格を持っていても、保育園などで働いていない人です。厚生労働省の発表によると、令和2年の保育士登録者数は約167万人、内潜在保育士は約102万人にのぼり、全体の約60％に及びます。

東京都が行ったアンケートでは、職場改善の希望項目として「給与・賞与等の改善」「職員数の増員」「事務・雑務の軽減」が圧倒的に多い結果でした。「就労先に選ばれなくなっている」のは、給料が低いためで「保育士が足りない」わけではありません。

保育に関わる国の最低基準や国家資格としての保育士資格は、子どもの命と安全を守るためのものです。日本の将来を担う大事な子供たちを守るために、規制緩和や国家戦略特区路線の拡大ではなく、保育士の配置基準や賃金・労働条件を改善し、実際に保育現場で働きたいと意欲がもてる施策が必要です。

署名チラシは
こちらから

〈第34回福岡地区労連定期大会〉

「労働組合のバージョンアップ平和で暮らしやすい社会へ」

岸田政権の悪政によって、これからの私たちを取り巻く社会は、「戦争か平和か」が問われ、重大な変化を余儀なくされる岐路に立たされています。安全保障を口実にした大軍拡大増税、労働者の雇用の流動化、国民皆保険制度を破壊する健康保険証の廃止、大量失業者を生み出すインボイス制度、環境を破壊する原発海洋汚染水の海洋放出など、国民の声を聴く耳を持たない政治に終止符を打つための、重要な方針を決める定期大会を成功させましょう。

日時　10月22日（日）
受付　12時30分　開会13時　終了17時
場所　福岡県労連大会議室　オンライン併用

今後のスケジュール

●**働くための九州セミナー・プレセミナー**
11月1日（水）17：30～
千鳥ビル2階大会議室・WEB併用

●**過労死対策シンポ**
11月2日（木）15：00～17：00
オリエンタルホテル福岡ヤマカサ

●**働くための九州セミナーin宮崎**
11月18日（土）13：00～11月19日（日）
宮崎市民プラザ